



2025 年 6 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社 森組
代表者名 代表取締役社長 吉田 裕司
(コード番号：1853 東証スタンダード)
問合せ先 代表取締役 常務執行役員
経営管理本部長 兼 総務部長 内山 浩二
(TEL. 06-6201-2763)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ

当社は、2025年6月24日開催の取締役会において、下記のとおり、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状分析

当社の過去5年における資本収益性（ROE）は、3～10%程度で推移しており、収益性を向上し安定させることが一つの課題であると認識しております。

また、PBRは常に1倍を下回っており、株価は割安な水準で推移していますので、株価向上のための事業の成長への取り組み、株主還元等の諸施策の実施が必要であると考えております。

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	28,579	31,319	24,620	27,582	29,454
当期純利益	1,316	1,255	523	685	921
ROE (%)	10.4	9.3	3.7	4.8	6.3
期末株価 (円)	330	304	291	348	301
1株当たり純資産 (円)	401.42	426.47	429.32	438.51	455.01
PBR (倍)	0.82	0.71	0.68	0.79	0.66
配当金総額	458	458	458	458	458
配当性向 (%)	34.8	36.5	87.6	66.9	49.8

2. 目標

当社は現状分析を踏まえ、収益性を向上し安定させるため、中長期的な経営戦略として掲げる基本戦略を継続しPBR 1倍を目指してまいります。そのために、ROEについて中期的には安定継続して資本コストを上回る6%以上を目標値とし、将来的には8%以上を目指すことを念頭に諸施策の実行に取り組んでまいります。

3. 施策

経営指標目標の達成に向けて、以下の施策に取り組んでまいります。

(1) 収益性向上

収益性向上のために、つぎの事項を実施してまいります。

- ・ 建築事業における非住宅分野へのシフトおよび企画提案型の設計施工案件の取組強化
- ・ 土木事業における事業エリアの集中による効率化
- ・ DX、ICT技術の活用を通じた生産性の向上

(2) 株主還元

当社の配当方針はつぎのとおりです。

「当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つとして考えております。配当につきましては、中長期的な視点から安定的に配当を継続することを基本方針とし、内部留保の状況、業績の見直し、将来の事業展開等を総合的に勘案し、配当性向35%以上（※）を基準としております。」（※配当性向35%以上とする方針は、2022年3月期からです。）

しかしながら、株価上昇の実現、経営指標目標とするPBR 1倍を達成するために、最低ラインの基準である配当性向35%に拘らない安定配当を実施してまいります。

(3) IR活動の充実

- ・ 工事情報や企業イメージの向上に関する情報発信
- ・ 非財務情報の発信

以 上